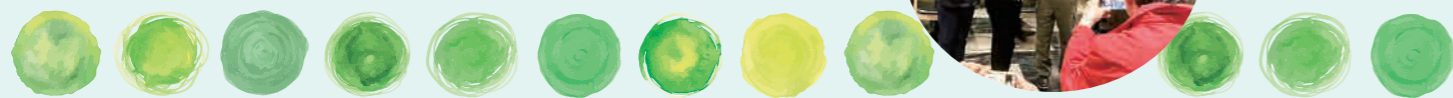


# 台湾派遣2025 —国際交流で広がる スカウトの未来—

滋賀連盟では、国際交流活動の一環として、2025年1月に台湾・嘉義縣への派遣事業を実施しました。スカウト18名が参加し、現地スカウトやホストファミリーとの交流を行いました。

ホームステイや文化体験、地域での活動を通して、言葉や文化の違いを越えたつながりを築きました。交流の中では、「伝えようとする気持ち」の大切さを実感し、国際理解を深める貴重な機会となりました。

滋賀連盟は、こうした国際交流を通じて、広い視野と協調性を持つスカウトの育成に取り組んでいます。これからも世界とのつながりを大切に、未来へと歩みを進めていきます。



## 国スポ・障スポを支えて

### 滋賀のスカウト、式典補助員として参加

「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の式典において、滋賀連盟のスカウトが式典補助員として参加しました。総合練習会からリハーサル、そして本番へ。複数日にわたる参加は、決して軽いものではありませんでした。

### 旗掲揚という重責

式典の中でも、特に緊張感のある役割が旗掲揚です。国旗、県旗、大会旗。その一挙手一投足が、多くの観客の目に映ります。合図に合わせて、姿勢を正し、ゆっくりと、確実にロープを操作する。速すぎてもいけない。乱れてもいけない。静まり返るスタジアムの中で、スカウトたちは落ち着いて任務を果たしました。

### 「任せられる」存在へ

今回の奉仕は、単なるお手伝いではありません。式典という公的行事の重要な一場面を担う役割でした。日頃の訓練で身につけた規律、仲間と息を合わせる力、責任を果たそうとする姿勢。それらがあってこそ、任せていただいた大役です。

### 奉仕の精神を体現

ボーイスカウトの根幹は「奉仕」。目立つことよりも、支えること。県を挙げた大会の成功を、静かに支えた経験は、スカウト一人ひとりにとって大きな成長の機会となりました。滋賀のスカウトは、これからも地域とともに歩みます。



## 〈湖南地区活動報告〉

10月19日(日)浅柄野野営場にて、湖南地区大会「迷たんけんコナン」が開催されました。

湖南地区(草津市・栗東市・守山市)のビーバー隊・カブ隊のスカウトたちが集まって交流・体験をします。ボーイ隊以上のスカウトは運営のお手伝いを頑張ってくれました。

会場にはジップラインやロープ投げ、クライミングボードなどの様々なブースがあり、スカウトたちは笑顔いっぱい楽しんでいました。ジップラインはちょっと怖かったそうですが、そのスリルが良かったみたいです。体験できるブースがたくさんあったので、時間が足りないくらい目一杯遊びました。他の団のスカウトたちにも会えて、仲間がたくさんいることを知れてよかったね。いっぱい遊んで、お疲れ様でした!



## 〈湖西地区活動報告〉

地区カブラリー  
めざせ!ポケモンレーナー  
開催日2025/07/13(日)

スカウト59名、体験9名、指導者、保護者を入れ  
総勢 100名程度



## 湖東地区活動報告

5月4日(日) 荒神山春まつり湖東地区体験ブース出展

(彦根市荒神山公園) ※日本連盟ワクワク自然体験遊び2025として展開  
・国旗クイズ・重さを当てよう・ロープワーク・蜘蛛の巣城 ほか  
体験ブースのべ316名

5月18日(日) カブリンピック2025(近江八幡市近江風土記の丘)  
参加:5ヶ団、54名(スカウト32名、指導者19名、その他3名)

5月25日(日) 集まれビーバーの集い2025(近江八幡市近江風土記の丘)  
参加:5ヶ団、83名(スカウト26名、指導者、13名、その他44名)  
※日本連盟ワクワク自然体験遊び2025として展開

6月12日(木) ラウンドテーブル&地区協議会(安土コミュニティセンター)  
地区協議会協議事項

・県キャンポリー及び日本ジャンポリーについて  
・地区行事(地区大営火)について  
・VS部門の活動活性化への地区の支援について

【行事等予定】 6月12日(木) ラウンドテーブル・地区協議会(安土コミュニティセンター)  
6月29日(木) 第346回ボーイスカウト講習会(五個荘コミュニティセンター)

